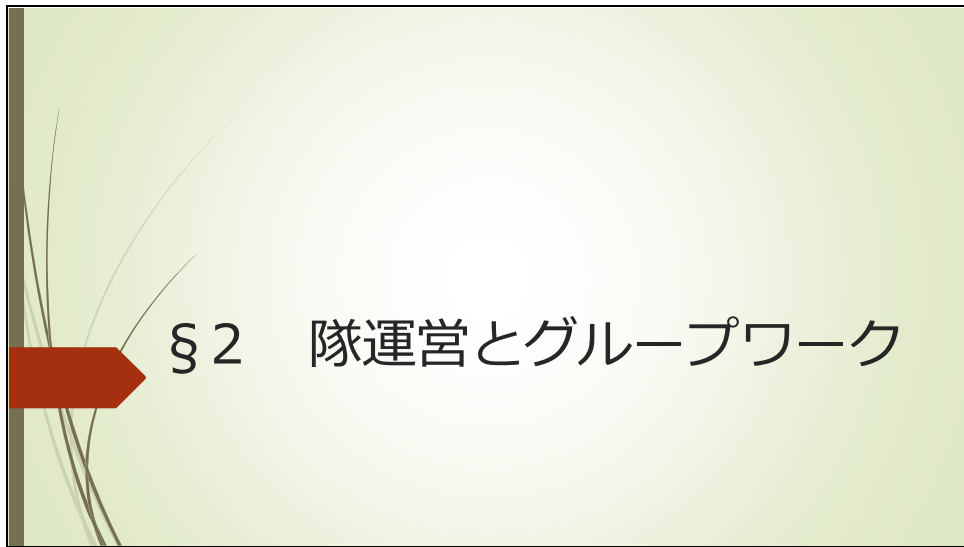


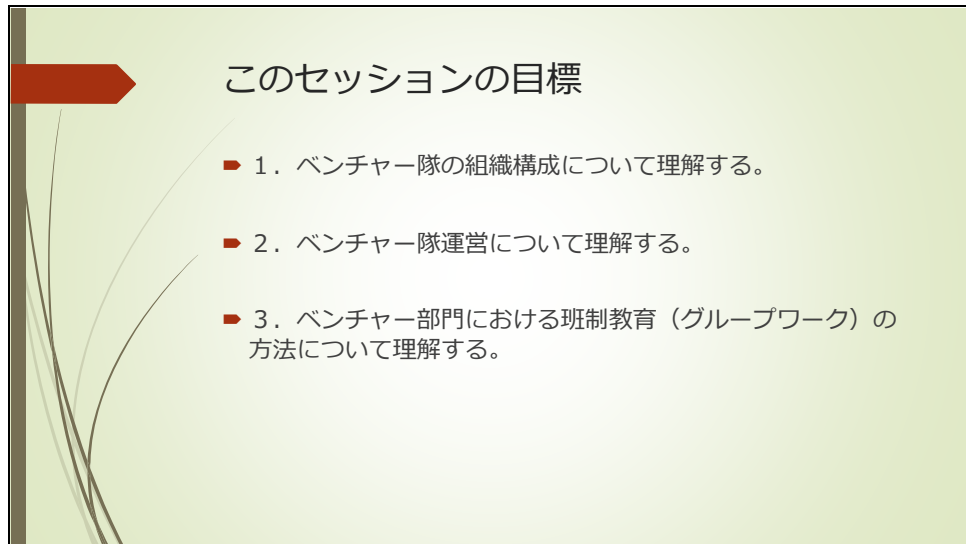
スライド 1



自己紹介

ベンチャー隊長兼ボーイ副長

地区 進歩委員長 副コミッショナー

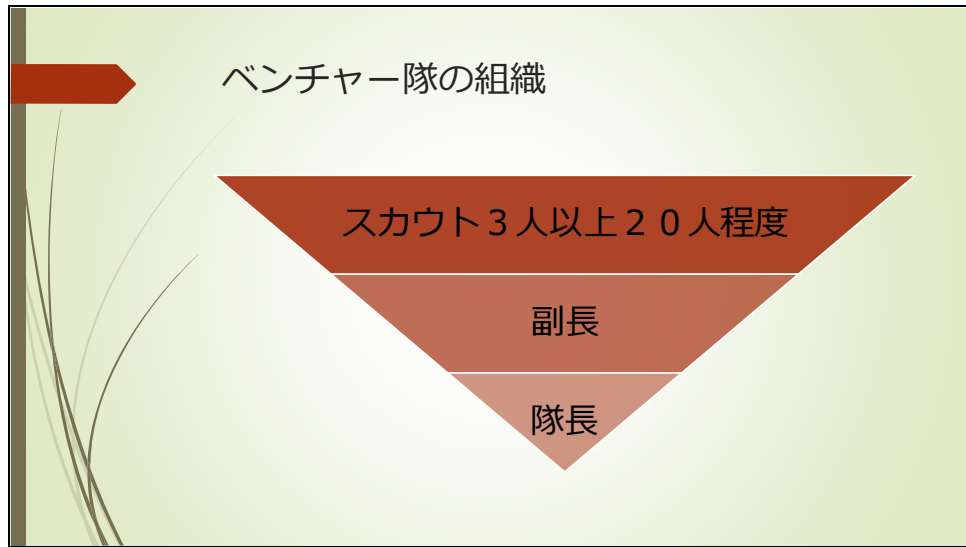


このセッションの目標

- ▶ 1. ベンチャー隊の組織構成について理解する。
- ▶ 2. ベンチャー隊運営について理解する。
- ▶ 3. ベンチャー部門における班制教育（グループワーク）の方法について理解する。

【セッション目標の確認 読み上げる】

- 1.ベンチャー隊の組織構成について理解する。
- 2.ベンチャー隊運営について理解する。
- 3.ベンチャー部門における班制教育、グループワークの方法について理解する。



標準的なベンチャー隊の構成としては、

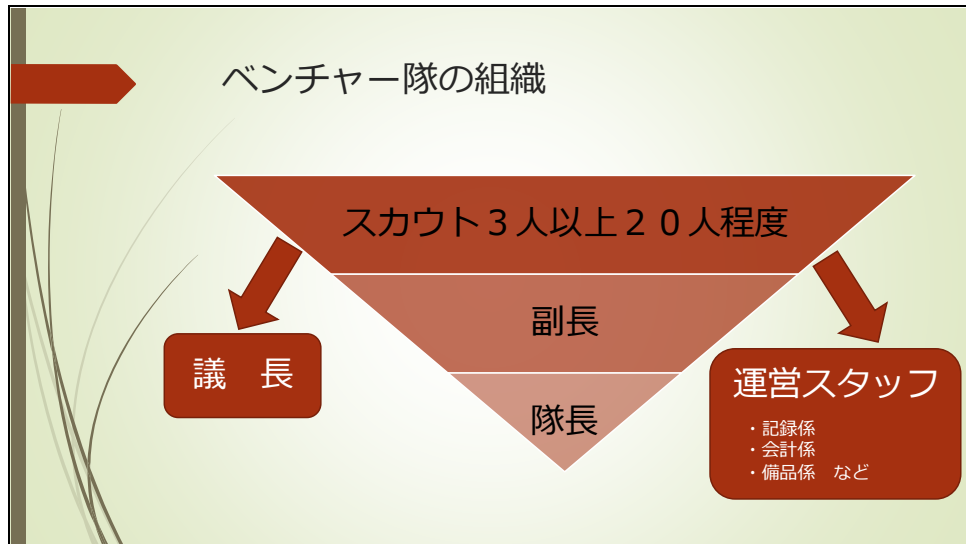
ベンチャースカウトが3名から20名程度

副長が数名、隊長が1名とされています。

【参加者の隊構成を聞く】

ここに挙げた組織図は意図して逆三角形を使った。

隊指導者はスカウトたちを支えるのが役目 決して三角形の頂点ではない。



スカウトの中から議長を選出する。

議長はスカウトの推薦により選出されるもので、決して隊長が選出するものではない。

隊長は任命するという役務をもって、スカウトの中から指導力の持つスカウトを選出するようにアドバイスする。

議長の役割は後に話をさせていただき会議の招集と会議議事の進行、とりまとめをするという役割を持たせる。

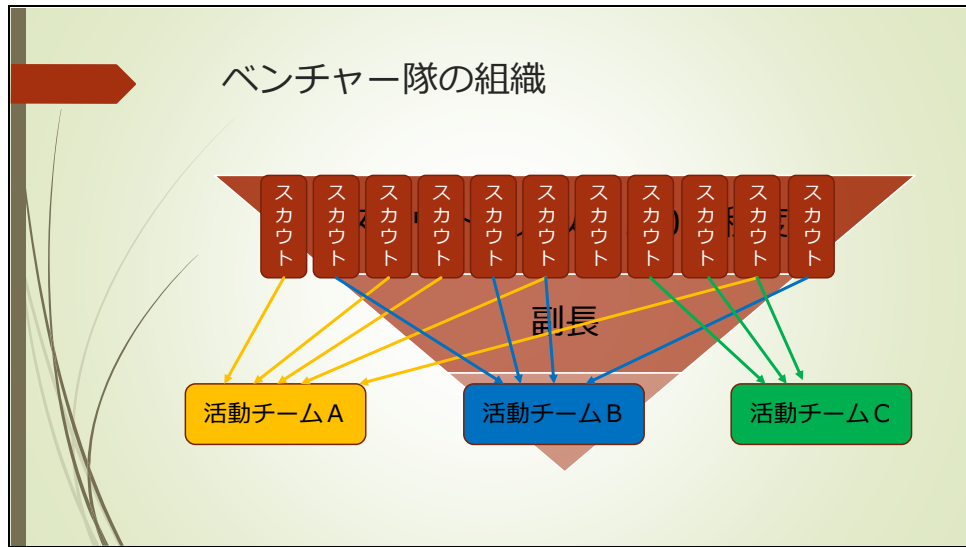
スカウトの中から運営スタッフを選出する。

こちらもスカウトに選出するようにアドバイスしてください。

例えば記録係、会計係、備品係など

隊の規模に応じて兼務させたり、別の係を作ることを検討してください。

その点についてもスカウトの自主性を尊重するようにアドバイスが必要になる。



カブ隊の組、ボーイ隊の班に相当するもの

ベンチャー隊では活動チームという小グループを作ります。

スカウトそれぞれの興味や意欲によりいくつか結成されると思う。

活動チームA,B,C

重複して複数の活動チームに参加することもある。

また、他隊のスカウトが参加する場合、他隊の活動チームに参加する場合もある。

活動チームはチームの推進役であるチーフ、庶務や会計を担当するマネージャーを選出します。

ただし、チーフ・マネージャーは他の活動チームのチーフ・マネージャーを兼務できないので注意が必要。

【図には意識してどの活動チームにも参加していないスカウトを書いている。】

ベンチャー隊の会議と集会

	隊会議	隊運営会議	隊集会
目的	隊の運営とプログラムについての議決機関として開催する。	隊の運営を円滑にするために開催する。	一人一人の進歩また技能習得のため開催する。
構成	メンバー全員及びベンチャー隊指導者	議長 隊運営スタッフ 活動チームのチーフ(マネージャー)	メンバー全員及びベンチャー隊指導者
指導者の役割	アドバイザーとして指導・助言	アドバイザーとして指導・助言	各スカウトの訓育と援助
開催	定例	定例	定例
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・隊活動方針 ・予算に関すること ・意見の調整 ・諸連絡 	各プログラムやプロジェクトの進捗状況や調整	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の事前訓練 ・奉仕活動 ・団行事 ・隊独自の活動

ベンチャー隊の会議と集会について

会議は2つ 隊会議と隊運営会議

隊会議は全員参加で隊の運営と議決事項について議論する。

先の議長・運営スタッフもここで決められる。

隊運営会議は議長、隊運営スタッフ、活動チームのチーフ、マネージャーが出

席して主にプログラムやプロジェクトの進捗状況の確認と調整を図る会議

隊集会はスカウトそれぞれの進歩の促進や技能向上を図る場

ベンチャー隊ではスカウト自身が主体的に会議・集会を実施する過程であり、
隊指導者は会議のアドバイザーであり援助する立場である。

ベンチャー隊の組織と役割

	議長	運営スタッフ	活動チームのチーフ	活動チームのマネージャー
選任	隊会議で選出	隊会議で隊の規模に応じて選出	活動チームのメンバーが決める	活動チームのメンバーが決める
任命	隊長	隊長	-	-
資格	指導力を有している者	-	他の活動チームのチーフまたはマネージャーと兼任できない	他の活動チームのチーフまたはマネージャーと兼任できない
任務	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の招集 ・会議のとりまとめ ・活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録、会計、備品等の担当業務を行う ・隊運営会議に出席する 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動チームの推進役 ・チームの予算執行責任者 ・隊運営会議に出席する 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動チームの庶務全般及び金銭出納業務 ・必要に応じて隊運営会議に出席する

ベンチャースカウトのそれぞれの役割による任務

【表を見ながら読み上げる。】

【まとめなのでさりと次へ】

活動チームの編成

- チームの編成
スカウトのニーズ(needs)・ウォンツ(wants)により活動チームを編成する。
自隊のメンバーには限らない。時には他隊メンバーと編成しても構わない。
また、複数の活動チームに所属することができる。
- チーム活動の推進
チームからチーフとマネジャーを選出し、チーム活動を推進する。
ただし、別の活動チームにおいてチーフまたはマネジャーの任についている場合は、兼任することができない。
- チーム活動の進め方
プロジェクトの企画→計画→実施→評価→反省

指導者はスカウトが活動チームに参加することを奨励し、その活動を励まし支援することが必要である。

【活動チームについて、少し深く掘り下げる。】

活動チームはニーズ及びウォンツを共有する(必ずしも最初から共有しているとは限らないが・・・)スカウト同士が編成する。

この場合、自隊のスカウトだけとは限らない。

ベンチャー年代になるとボーイと比べ、活動範囲、幅がひろくなっているはず
他隊のスカウトと共通した思いがあれば活動チームを編成してもよい。

参考 第一地区では、なかなか自隊での活動はスカウト数の問題から活性化していない様子が見られる という現状から 不定期であるが地区内スカウトを

集め会議をしている。

活動チーム(今のところ会議に参加したスカウト全員だが)が編成され、活動している。)として地区の活動をしている。

チーフの選任をする。

リーダーシップ・フォロワーシップを育成することを意識する。

チーム活動は企画、計画、実施、評価、反省というシステムを進めることが大事
次につなげられるように、社会性を身につけられるように システムを進めるように指導が必要

大事なことは指導者がスカウトそれぞれが活動チームに参加し、その活動を励まし支援することが必要だということ。

活動チーム発足に向けて (グループワーク)

例えば、隊のスカウトが下記のようなメンバーだったとします。
年度初めの隊会議で話がまとまらないようで議長が苦慮しております。
あなたは隊指導者としてどのようなアドバイスをしますか？

	A君	B君	Cさん	D君	E君	Fさん
隊役務	議長	記録	会計			
学年	高校3年	高校2年	高校2年	高校1年	高校1年	高校1年
部活・趣味	受験勉強が忙しい	地学部	英会話	野球部	卓球部	音楽鑑賞
将来・目標	特に決めていない	秋の文化祭で研究成果を発表する予定	英語力を生かした仕事に就きたい	甲子園に行きたい	特になし	ギターが弾けるようになりたい
その他	受験勉強のためと りあえず今夏で活動 を休止する予定	体を動かすことより、 頭を使うことのほうが得意	海外派遣に興味がある	B Sの頃、行った キャンプ場が忘れられない。 カヌーが楽しかった。	D君と同じ 協調性があるが主 体的ではない	おとなしい あまり話を切り出 さないが、活動中 は楽しそう

例として

隊が次のようなスカウトだったとします。

年度初めの会議でなかなか意見が出ず、議長が困っているようです。

では、あなたは隊指導者としてどのようなアドバイスをしますか？

どのような活動チームが結成されるのでしょうか？

ここに記載している事項では判断できないことがあると思います。

それは推定、設定で構いませんのでグループで話し合ってみてください。

【グループワークはセッションの開始から30～35分程度の時間で区切る。】

【§4.とリンクしているため、この場はとりあえず参加者だけで行う。】

【話し合いの発表】

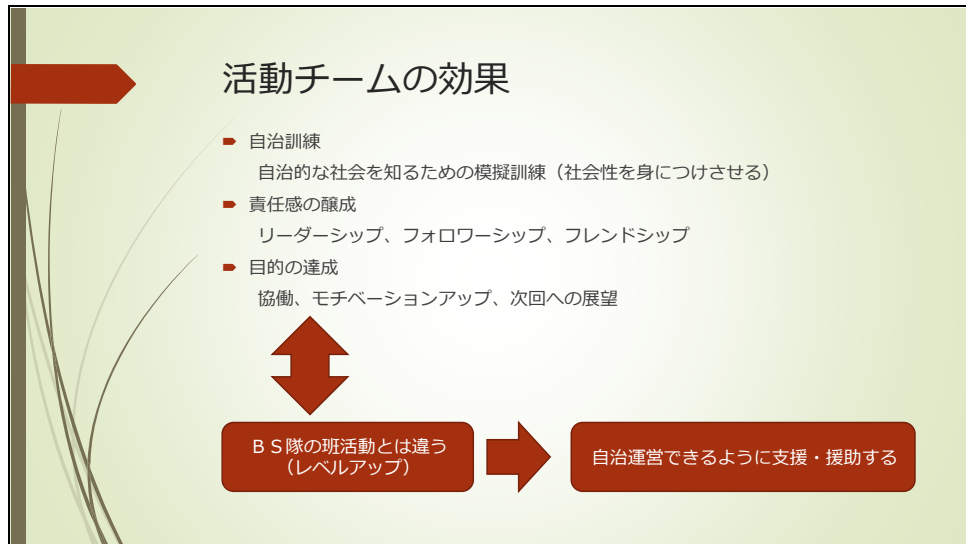
私は、意見が出ないようならば「やったことのないこと、絶対無理だと考えられること」から話しだすようにアドバイスします。その中から何か自分たちでできることを見つけ出してもらいたい。

ボーイ隊長の時、あるサッカー好きのスカウトから「ブラジルに自転車で行く」という提案があった。

ふざけて言ったと思うが、それを否定することはしない。

スカウトは否定されないことを驚いていたが、「では、それを実現するために今何にチャレンジしなければならないか・・・」ということでサイクリングプログラムに繋がった。

隊長はどんな意見が出ても「否定しない」というスタンスが大事



活動チームを進めることにより

自治的な社会を知るための訓練を行う。

社会では 会社で企画し、了解を得て、計画書を出して、功績があげられるか (目標が達成で来たか)、何が良かったのか、悪かったのか・・・を模擬訓練する。

スカウト運動は失敗を奨励する。失敗の原因は何だったのか、次にどのようにすればいいのかを考えることが大事。

活動チームの運営によりチーフとしてのリーダーシップ

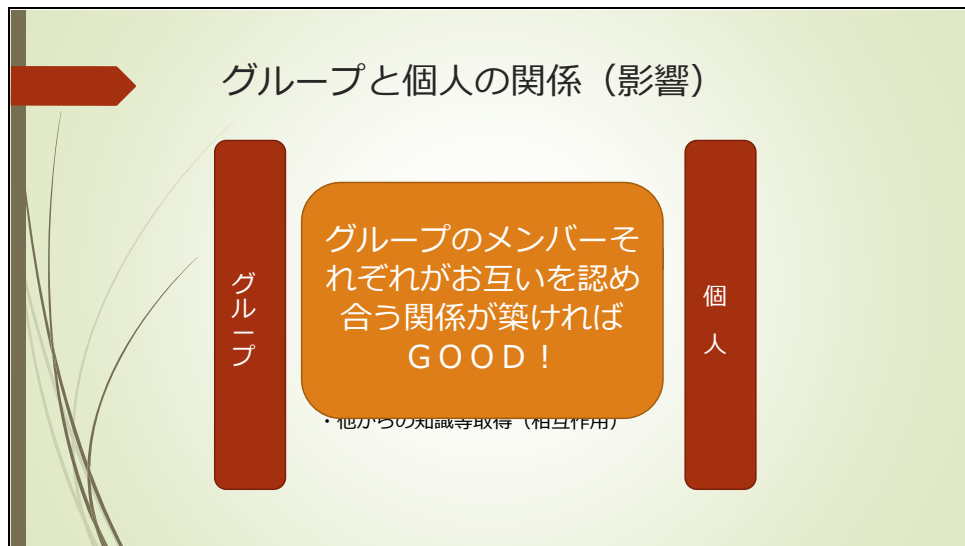
メンバーのフォロワーシップ お互いのフレンドシップを築くことができる。

これも社会性の育成につながる。

活動の反省も必要だが、目標を達成できたことによるモチベーションアップ、
次の活動へのステップアップを意識させることも重要。 あまり欲張った目標
を立てさせないようにアドバイスをする必要がある。

活動チームと隊指導者の距離は、ボーイ隊の班と隊指導者との距離が違う。

自分たちだけでチームを運営できるように指導者は支援、援助する。



活動グループをグループと個人という客観的な視点から見ると

スカウト個人は、自分のできること、与えられた役割の執行、技能の提供により、グループとして目標に近づく

グループに所属するという安心感ともいえる連帯感を感じる。

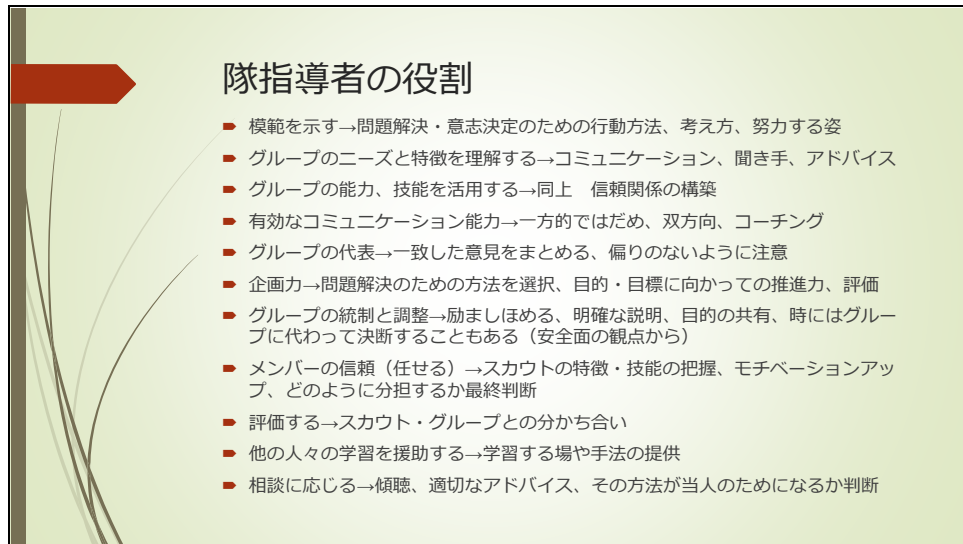
また、他スカウトからの技能などの知識を得る。

お互いに技能、知識を伝え合うという相互作用からスカウトの成長を促進するという効果が表れる。

このような関係が構築できることにより

グループのメンバーそれぞれがお互いを認め合っている活動グループが編成し

実施できればGOODだと思う。



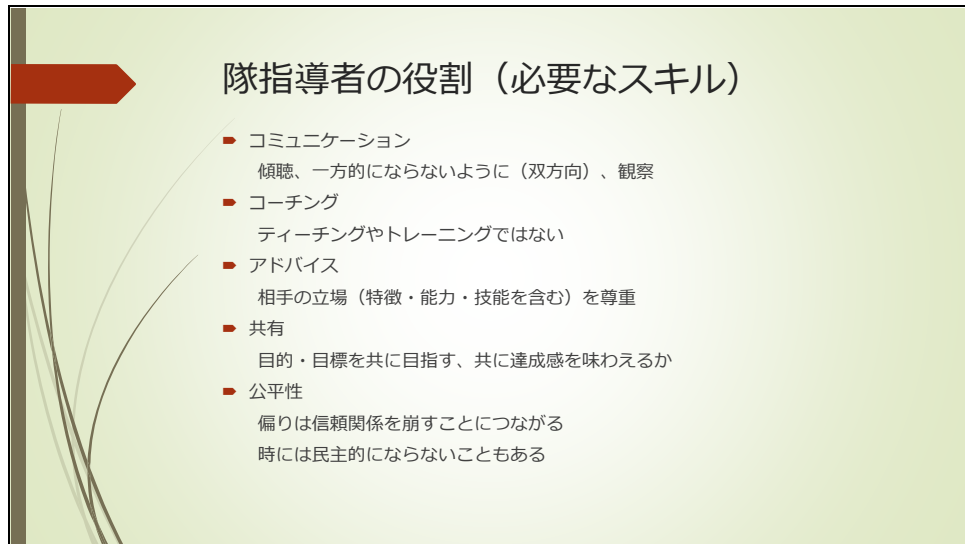
隊指導者の役割

- 模範を示す→問題解決・意志決定のための行動方法、考え方、努力する姿
- グループのニーズと特徴を理解する→コミュニケーション、聞き手、アドバイス
- グループの能力、技能を活用する→向上 信頼関係の構築
- 有効なコミュニケーション能力→一方的ではだめ、双方向、コーチング
- グループの代表→一致した意見をまとめる、偏りのないように注意
- 企画力→問題解決のための方法を選択、目的・目標に向かっての推進力、評価
- グループの統制と調整→励ましほめる、明確な説明、目的の共有、時にはグループに代わって決断することもある（安全面の観点から）
- メンバーの信頼（任せる）→スカウトの特徴・技能の把握、モチベーションアップ、どのように分担するか最終判断
- 評価する→スカウト・グループとの分かち合い
- 他の人々の学習を援助する→学習する場や手法の提供
- 相談に応じる→傾聴、適切なアドバイス、その方法が本人のためになるか判断

隊指導者の役割

【それぞれ文章が細かいので、読み上げる。】

【矢印以降はキーワード とりあえずこのシートでは読み上げるだけにしておく。】



隊指導者の役割（必要なスキル）

- コミュニケーション
傾聴、一方的にならないように（双方向）、観察
- コーチング
ティーチングやトレーニングではない
- アドバイス
相手の立場（特徴・能力・技能を含む）を尊重
- 共有
目的・目標を共に目指す、共に達成感を味わえるか
- 公平性
偏りは信頼関係を崩すことにつながる
時には民主的にならないこともある

指導者の役割 キーワードの大事な部分をまとめました。【読み上げながら下記】

コミュニケーション

言い過ぎない スカウトの話、意見を聞くことを心掛ける 話を促す

コミュニケーションは一方的ではない 双方向(傾聴に注意)であるべき

スカウトの反応は言葉だけではない 態度や表情の観察力が必要

コーチング

ティーチング 教えることではなく トレーニング 列車に乗って指導者の思う場所に

連れていくことではなく コーチング 馬車の進む方向はスカウト自身が持っている

という意識が必要

【時間があれば、参加者1名にコーチングを実施してみる。】

アドバイス

スカウトの特徴、能力、技能などを尊重して行うこと 過剰なアドバイス レベルの高い要求はスカウトをネガティブにするだけ 能力より少し上ぐらいにしたい。

共有

スカウト、活動チームの目的、目標は指導者も共有していきたい。共に一生懸命取り組み(スカウトの取り組み方とは違うが)、目標が達成できた時は共に喜びたい。

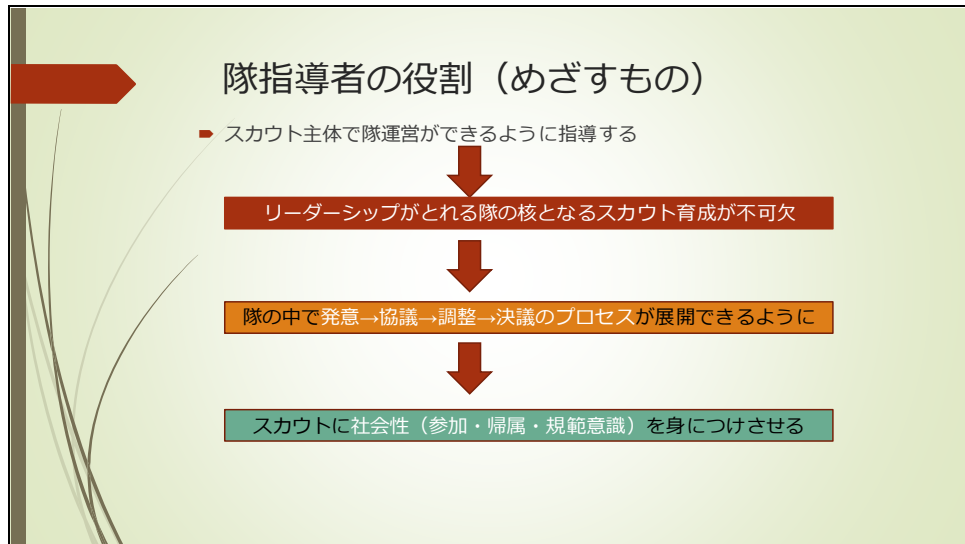
公平性

スカウトと指導者は信頼関係がなければだめ

特定のスカウトだけを相手にする。特定の相手だけの進歩、活動に一生懸命になる。

他のスカウトは見抜く 気を付けなければならない

ただし、安全面から指導者が指揮をとることも必要 スカウトの合意をそれでも



ベンチャー隊では

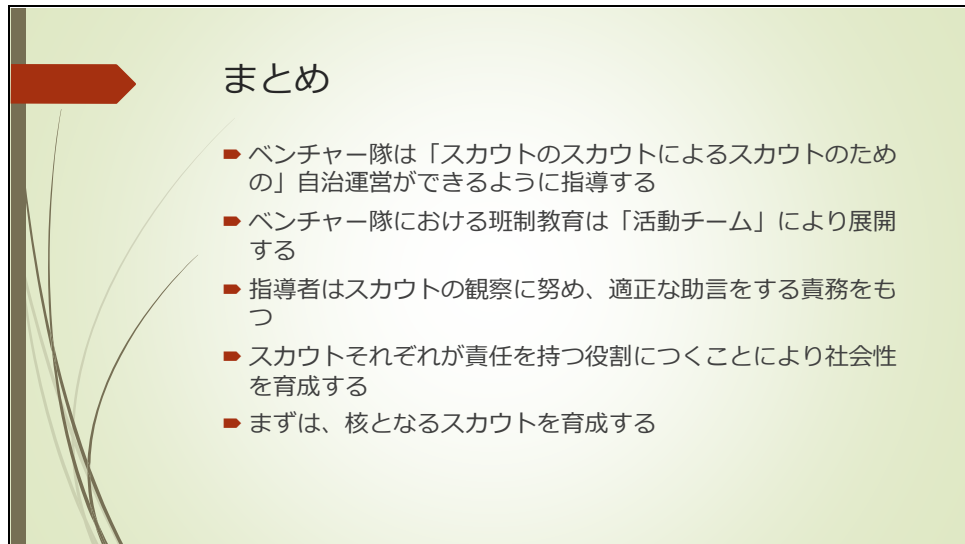
すべての活動において、スカウトが主体となるように配慮し、指導する。

まずは、隊の核となるスカウトを育成することが大事 ただし、そのスカウトだけを相手にし、ほかのスカウトの信頼を失わないように

隊の核となるスカウトを中心に隊の中で発意し、スカウト全員の協議のもと、活動グループ、個人活動の調整を行い、隊の方針が決議できるように指導する。

このプロセスによってスカウトが社会性を身につけるように成長させることが

我々指導者の目標



まとめ

- ベンチャー隊は「スカウトのスカウトによるスカウトのための」自治運営ができるように指導する
- ベンチャー隊における班制教育は「活動チーム」により展開する
- 指導者はスカウトの観察に努め、適正な助言をする責務をもつ
- スカウトそれぞれが責任を持つ役割につくことにより社会性を育成する
- まずは、核となるスカウトを育成する

まとめ

【一つずつ読み上げながら】

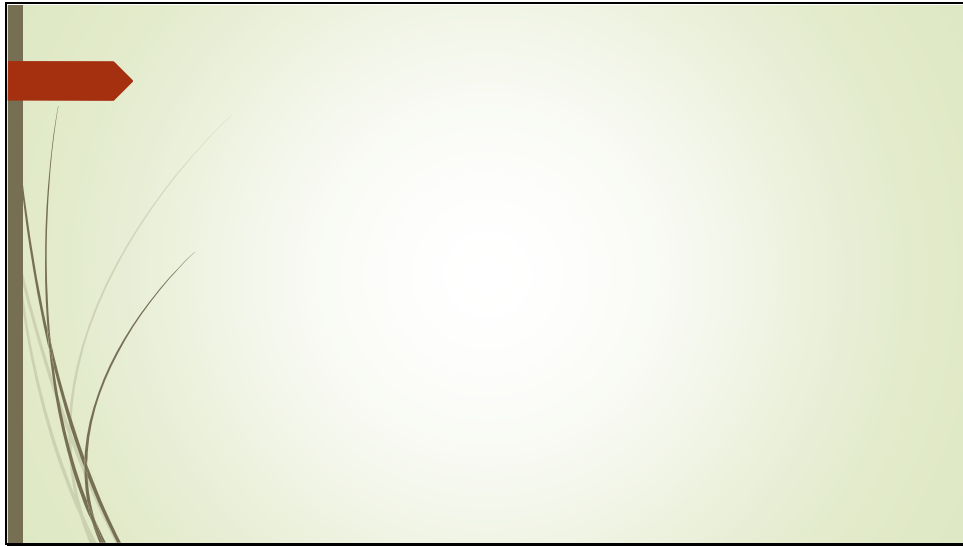
ベンチャー隊は自治運営ができるように指導し、それぞれのスカウトが社会性を身につけられるようにする。

ベンチャー隊の活動チームはスカウト教育法の「小グループ活動」を踏襲し、ボーイ隊の班とは違う形で編成、運営される。

我々指導者に大切なのは、スカウトの観察と適正な助言、アドバイス 決して
出しゃばった発言をしないように スカウトの信頼を失うとともに 隊の活性
化が図れない 議長、チーフの立場を尊重して

議長・チーフは責任 ボーイ隊の班長とは違った責任 社会性に近づく責任を
感じて成長することを期待したい。

繰り返しになるが核となるスカウトを育成すること。おそらく隊運営がそこか
ら良い方向で回り始める。



生田目より

①幹部スカウトの育成についてイメージさせてください

(BS隊における上級班長や、班長を例にしても可)

②隊に帰属しグループワークの上スカウトたちの自治運営であること

を強調してください。